

京大ストライキへの 弾圧を許すな!

戦争反対が 犯罪!?

「戦争反対」が「犯罪」!? ストライキが「威力業務妨害」!

現在反戦運動・学生運動の壊滅を狙った歴史的な大弾圧が起きています。このビラを受け取って下さったみなさんにも抗議の声を上げていただくことを心の底から訴えます。

2月29日、齋藤郁真全学連委員長や京都大学の学生をはじめ全学連の仲間が「威力業務妨害」を容疑とし逮捕されました。この弾圧は京都大学の仲間が昨年10月反戦ストライキに立ち上がったことを「授業妨害」とし「犯罪」とするものです。果たしてこんなことが許されていいのでしょうか?

ストライキに先立つ昨年9月、国会において政府与党によって、戦争法が強行採決されました。国会前―日本全土を揺るがした数百・数千の怒りの声。そして戦火の中で声を上げ続ける世界の仲間たち。京都大学の仲間はこの現実の中で、学生として今の時代いかに生きるべきか―を真剣に考え抜き、そして、何が何でも戦争を止めなければならない―というやむにやまれぬ思いでストライキに立ち上がりました。

京都大学当局はこの学生の思いを汲み取るどころか、それを踏みにじり、あるうことか警察へと学生を売り渡したのです。

現在始まっている事態は再びの「大学の戦争動員」です。大学で戦争に向け軍事研究が始まっています。経済的に困窮する学生は経済的徴兵制という形で実際に軍隊に、戦場に出されようとしています。この現実と無縁な学生、大学は一つとしてありません。京大ストライキはこの現実に対する怒りの告発であり、正義の闘いです。

現在、米日韓一体となった北朝鮮に対する侵略戦争体制構築が急ピッチで進んでいます。戦争、そして伊勢志摩サミットにむけての治安弾圧、大学の戦争動員を絶対に許すな!

救援カンパのお願い

弁護士による接見や差し入れなど不当な弾圧を打ち破るためには多額の救援カンパが必要です。ぜひ救援カンパをお寄せ下さい。

[郵便振替]

00190-0-766112 全日本学生自治会総連合



作部羊平
京大同学会委員長



齋藤郁真
全学連委員長

全日本学生自治会総連合

(全学連：齋藤郁真委員長)

03-3651-4861 mail_cn001@zengakuren.jp
<http://www.zengakuren.jp>

京都大全学自治会同学会委員長 作部羊平からの訴え

2月29日、戦争反対で闘う学友3名が逮捕された。容疑は10・27京大反戦バリストを「威力業務妨害」とするものだ。この大学ストⅡ「犯罪」とする前代未聞の戦時下弾圧を、満腔の怒りを込めて弾劾する！

大学を舞台にはじまる軍事研究や経済的徴兵、反戦運動弾圧。同学会中執は、ストに至る過程で何度も何度も京大当局に「戦争反対の立場を表明してほしい」と求めてきた。その回答こそが京大史上初の政治運動に対する刑事告訴であり、つまり安倍政権とともに断固戦争を推進する立場に立つということだ！

京大・山極総長は「学生との対話を重視する」と言う。現実はどうか？ 副学長と共に、「対話の必要はない」と情報公開の場の廃止を決定し、寮自治会との確約を「そんなものは引き継がない（破棄する）」と宣言している！ そして彼の「平和」とは、大学において学生の怒りの反乱を「平和的方法」に押し込め込み、戦争に動員することを指すのだ！

労働者の4割が非正規という「生きていけない現実」を受けて、今や青年の半数が大学

に通っている。京大反戦ストは、この未来を奪われた学生の広く深い怒りに、そして安保国会闘争で示された学生の激しい怒りに、進むべき道を切り開いた。現実の矛盾と闘う学生の誇り、戦争を止める学生の力を呼び覚ました。

安倍政権・国家権力は朝鮮戦争の切迫と経済の崩壊に直面して、学生の反乱を抑え込もうとなりふり構わず今回の弾圧を仕掛けてきた。しかし学生は必ず弾圧を打ち破って立ち上がる。これから始まるのは、弾圧のなかに「戦争の現実」と「国家権力の暴力性」を見抜いた学生の、すべてを取り戻すラジカルで広範な決起だ！

全国の学生のみなさん！ 戦争のための大
学支配を打ち破り、全世界の労働者とともに
全国反戦ゼネストで安倍の息の根を止めよう！
そして京大生のみなさん！ 同学会を学生
の団結体として打ち鍛え、山極総長体制と国
家権力を串刺しにする第二の反戦ストライキ
に立ち上がろう！

安倍政権の戦争政治と 闘い抜いてきた 京大生の闘い



13年11月京大生は学内に侵入した公安警察を摘発・追放。
写真は同月開催された抗議集会の様子。



本件逮捕の「容疑」ともなった昨年10月のバリケード・
ストライキの様子。多数のマスコミから学内で取材。